

令和 2 年 6 月 29 日

第 530

号横浜市立日吉台小学校

教育目標

みずから生きる

ともに生きる 日吉台の子

# ひよしだい



<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hiyoshidai/>

今年で創立147周年 日吉台小学校

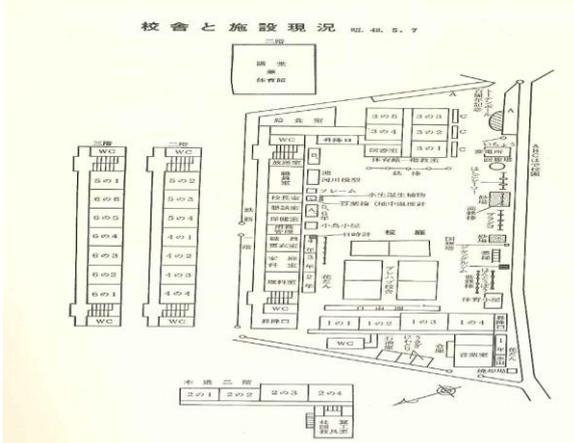
校長 玉置 恭美



6月24日は日吉台小学校創立147周年の記念日でした。「でした」というのは、今年は開校記念集会を持つことができなかったのです。例年は、地域や保護者で日吉台小学校出身の方々に、昔の日吉台小や日吉のまちの話をお聞かせいただいていたのですが。当日は、日ごろ職員室前廊下に展示してある「文化の鐘」を中休みの終了時に鳴らすことで創立記念日を祝いました。小学校に電動の「チャイム」がなかったころ、「文化の鐘」

の中の鉄球を、それに着いた縄を振ることで鐘の内側に当て、学校中に授業の始業と終業を知らせていたのでしょう。(職員室前廊下にこの時期、古い写真が展示してあります)

創立100周年記念誌を読むと、「文化の鐘」のことは詳しくは記載されていませんが、当時勤務していた先生の手記に「チャランチャランと終業の鐘が鳴ると、掃除バケツをさげて渡り廊下を走る5,6年生の姿が」という文章がありました。おそらく現在の体育館校舎のあたりに鐘を下げる台のようなものがあったようです。だれが鐘を鳴らす係だったのか、などととても興味深いです。



昭和48年当時の学校の平面図によると、図書室は現体育館棟の1階にあり、家庭科室と理科室は今の5,6組教室の位置にあったようです。1~5年生までは4クラス、6年生は6クラスで、校庭の半分はプレハブ校舎で埋め尽くされていたのです。回旋塔、うんてい、シーソーなどの遊具があり楽しそうです。来年は創立記念集会で、昔のお話を聞けることを楽しみにしたいと思います。

季節は気付かないうちに、どんどん過ぎ、2年生の野菜が、花壇で大きく成長し、「トマトおいしそう！食べたい！」と下校時に教えてくれる人が多いです。今年は学校ではなく、各家庭で種まきをした1年生の朝顔がどんどん育ち、支柱に太い弦を巻き付ける様子が見られます。毎朝水やりを欠かせません。各クラスで間引き作業をし、咲いた花の色を報告してくれます。「持って帰ったら次の朝咲いたよ」と家で撮影した写真を持ってきてくれました。嬉しかったです。みんなの笑顔咲く日吉台小です。

